



歴史的な市街区のオーディオガイド
2時間専門の観光ガイドのオーディオガイドで歴史的な市街区を自由に歩きます。
毎週末に古代の町を素晴らしいロッリの宮殿を見物します。
歴史的な市街区とユネスコ遺産のロッリ宮殿のガイドツアー

他の料金、スケジュール、外国語の詳細については、上記の観光案内所と連絡してください。

concept: Tricoremat.it - realizzazione editoriale: mercomm.it

またご連絡してください
? 観光案内所
電話番号: +39 010 55 72 903 - info@visitgenoa.it
Genova Turismo
www.visitgenoa.it www.genovamoremthanthisblog.it
Genova Turismo

OFFICIAL GUIDE
GENOVA
アプリをダウンロードしてください



見逃せないジェノヴァ
15の場所で町の魅力を感じる



GENOVA MORE THAN THIS



見逃せないジェノヴァ

歴史的な市街区

ヨーロッパの中で最も広い歴史的な市街区で、様々な香り、味、文化が混じったカルツジという路地と狭い広場を指します。時間が止まったように見える所で観光客は100年間以上存在していた歴史的な店の間にある古代の建物と素晴らしい教会に見とれます。交差点で目を上げる時、古い同業組合によって送られた、路地を照らすための素晴らしい壁の中で小礼拝堂が見えます。(ガイドツアーとオーディオガイドは観光案内所で売られています)

ガリバルディ通りとロッリの宮殿

かつてのジェノヴァの共和国時代の「迎賓館目録」は、公式訪問をしていた身分の高い人々を迎えるための宮殿や貴族の高級住宅をまとめた一覧でした。その目録は「ロッリの宮殿」と呼ばれていました。2006年に、150の建物の中で42はユネスコ世界遺産になりました。(ガイドツアーは観光案内所で売られています)いくつかのロッリ宮殿はかつて新しい通りと呼ばれたガリバルディ通りにあります。赤の宮殿、白の宮殿とドーリア・トゥルシの

宮殿には15世紀から19世紀までの素晴らしい絵画遺産があります。**赤の宮殿 (19-B6)**にはフランコ・アルビーニの現代のデザインとホームミュージアムの感じがあります。デ・フェッラリ、ピオーラ、グイドボノなどジェノヴァの画家たちによってフレスコ画法で描かれた部屋には、歴史的な家具とプリニョーレ・サレ家の芸術収集が収納されています。収集の中にジェノヴァの画家、ストロツツイ、



グレーケット、デ・フェッラリ、イタリアの画家、ヴェローネセ、レニ、グエルチーノと外国の画家、デューレー、ヴァン・ダイク、リゴージェウの芸術作品があります。**白の宮殿 (18-B6)**は1950年にフランコ・アルビーニのデザインによって改築され、フランドルの画家、メムールング、デイビッド、ルーベンス、ヴァン・ダイク、イタリアの画家、リッピ、カラヴァッジョ、プロカッチーニとジェノヴァの画家、カンヴィアーソ、ストロツジ、フィアセッラ、ピオーラ、マニヤースコの芸術作品がある一番重要なリグーリアの美術館です。**ドーリア・トゥルシの宮殿 (16-B6)**はかつてグリマルディの宮殿で、一番素晴らしい私立の住居です。庭園を挟んで白宮殿と隣接しています。トゥルシの宮殿部屋の中に装飾芸術の作品(タペストリー、家具、リグーリアの焼き物)があります。その後、古いジェノヴァの共和国の古銭と度量衡の収集があって、ニコロ・パガニーニの「イエスのグアルネル」と呼ばれていたヴァイオリンもあります。(開館時間: 火曜日～金曜日は午前9時～午後7時、土曜日と日曜日は午前10時～午後7時、月曜日は閉館です)

水族館と旧港 (112-B4/B5)

1992年に建築家レンゾ・ピアノのプロジェクトにより古い港の地区に建てられたジェノヴァの水族館は、今日、町の観光の中心です。ジェノヴァ水族館はヨーロッパ最大の水族館であり、マナティ、アザラシ、イルカ、サメ、ペンギンとさまざまな色や形の魚を見ることがで、ユニークでエキサイティングな体験を通して海の世界を発見するためにあなたに同行します。(水族館は1年間毎日開館しています)旧港の中で他の人気の場所は、ピーゴというの展望エレベーター、生物圏、子供の町という2歳から14歳までの子供のための博物館、シベリア門の中にはジェノヴァの舞台美術家ルツァイに献呈された美術館があります。さほど遠くないところに、地中海の海洋博物館の中で最も規模が大きく、革新的な**ガラタ海洋博物館 (119-B4)**があります。博物館の前には潜水艦ナサリオ・サウロが停泊しています。人類と海の歴史は深いつながりがあります。そこから5分のところには、ロマネスク調の**サン・ジョバンニ・ディ・ブレ教会**と、中世文字が描かれている壁面についての映像展示がある**ムゼオ・**

左から:歴史的な市街区、旧港、水族館
下:赤の宮殿



左から: 公爵の宮殿、サン・ロレンツォ大聖堂、サン・ピエトロ・イン・バンキ教会
左下から: ソプラナー門、ポッカダッッセ、スタリエーノ記念墓地である「オネト記念碑」

テアトロ・テッラ・コンメンダがあります
(99-A4)。

港と船の旅

1時10分間の船の旅により観光客はヨーロッパの中で最も大きな港のめずらしい外観に見とれます。素晴らしいジェノヴァの旧港からペーリという西住宅街までの全景を見ることが出来ます。宮殿、教会、歴史的な市街区、町の高地の城塞と町のシンボルである ランテルナというの灯台も見えます。(毎日水族館のとよりから出発します)

公爵の宮殿 (51-C6)

その宮殿は16世紀にジェノヴァ共和国総督の公邸でした。宮殿の中にあるグリマルティーナ塔は中世に、中心部は16世紀から17世紀までに建てられました。しかし18世紀に大きな火事のせいで破壊されましたが、原物の宮殿を新古典様式で復旧しました。現在ジェノヴァの文化の中心で、宮殿の中では様々な展示会と大切なイベントが行われています。ニコロ・パガニーニという有名な作曲家やヤコポ・ルッフィニという愛国者も入獄していた宮殿の刑務所も見物に値します。(グリマルティーナ塔の開館時間 火曜日～日曜日:午前10時～午後1時、午後3時～6時)

イエスの教会 (141-C6)

その教会はサン・アンブロジウとサン・アンドレアの教会とも呼ばれています。元の建物が6世紀にランゴバルド族の迫害から逃げ出したミラノの司教によって建てられましたが、現在の建設は16世紀にイエス会によって再建されました。その宮殿の内部は高名なジェノヴァのパロック様式で、2つのルーベンスの芸術作品「割礼」と「聖イニャツィオの奇跡」とグイド・レニの代表作「被昇天」があります。

ソプラナー門とコロンブスの家 (71-C6)

ソプラナー門は、1904年に倒壊した近くの丘の上の修道院の名前から、サン・アンドレア門としても知られています。この門は、皇帝の拡張主義からジェノヴァ共和国を守るために12世紀に建てられたバルバロッサの壁に通じています。また、ソプラナー門からあまり遠くないところに、クリストファー・コロンブスの生家 (95-C6) があります。しかし、この家の原型は1684年にフランスの爆撃によって破壊されたため、今あるものはコロンブスが生活していた建物を18世紀に再建したものです。コロンブスの家の隣には、12世紀のサン・アンドレアの古い修道院の回廊もあります。(ソプラナー門とコロンブス

の家の営業時間:
5月～8月: 火曜日～日曜日、
午前11時～午後6時
4、9、10月: 火曜日～日曜日、
午前11時～午後5時
11月～3月: 火曜日～木曜日、
午前11時～午後3時
金曜日～日曜日、
午前10時～午後4時
月曜日閉館)

サン・ロレンツォ大聖堂 (126-C6)

サン・ロレンツォ大聖堂は、12世紀から14世紀の間に建てられました。大聖堂の側面と側面扉口はロマネスク様式で、正面はゴシック様式になっています。何世紀にも渡って、大聖堂は内部の様式を変える幾つかの変化を経験しました。小礼拝堂の最も大きなものは、ジェノヴァの守護聖人である洗礼者ヨハネに捧げられたものです。1465年にさかのぼると、その礼拝堂はルネサンス様式になっています。聖堂内陣と側廊の先頭にある礼拝堂は、16世紀と17世紀に造られたものです。また右側廊の端には、第二次世界大戦で爆発しなかった爆弾が置いてあります。聖具室の隣の部屋には、1956年にフランコ・アルビニによって建てられたサン・ロレンツォ宝物館があり、12世紀から18世紀までの聖遺物と宗教芸術作品が所蔵されています。

(大聖堂の開館時間:
毎日午前8時～午後12時、
午後3時～7時。
宝物館の開館時間:
午前9時～午後12時、
午後3時～6時(日曜・祝日は閉館))

バンキ広場

この街で最も大切な港エリアに近づきます。この広場は、初めて農業市場として使われたところ。12世紀、この地域は



商人の交易と貴族の住まいとなっていました。13世紀の間、この広場は屋外で両替業を営む銀行家たちによって使われることになりました。16世紀には、雨・風の当たらない仕事場を彼らに提供するために、アンドレア・チェレソーラのデザインによってロジヤ・デイ・メルカンティ(商人の開廊) (101-C6) が建てられました。1855年に、この開廊はイタリアで最初の証券取引所となりました。開廊の右手にあるサン・ピエトロ・イン・バンキ教会 (174-C5) は、商店の上に礼拝所があるという独特な作りになっています。

この神聖なものとの世俗的なものとの独特な融合は、この地域を商業目的で使ったかったロメッリーニ家と、誓願を果たすために教会を建てる必要のあった地域住民との妥協の産物 だったのです。(教会の開館時間: 毎日午前10時から午後7時まで)

フェラーリ広場

ここは1936年に建てられた重要な噴水のある、ジェノヴァの主要な広場です。1821年にカルロ・バラビーネによって、近くのカルロ・フェリーチェ劇場 (191-C6)、公爵宮殿と美術大学 (111-C6) とともに設計されました。この広場は、正面玄関が左右にマッテオツィ広場と通じているドゥカーレ宮 (公爵の宮殿)、1920年に建てられたリグーリア州庁舎、1912年に建てられたボルサ宮 (新しい証券取引所) に囲まれています。

サン・マッテオ広場 (171-C6)

この広場には、中世のはじめに造られた都市貴族の屋敷があり、黒と白の縞模様を施したファサードのある建物が軒を連ねています。14世紀の教会と隣接する回廊とともに、サン・マッテオ広場はかつて、ジェノヴァ共和国の歴史で重要な役割を果たしたドーリア家のものとなっていました。ドーリア家出身のアンドレア・ドーリアは街角の邸宅で生まれ、彼のご遺体は教会の地下聖堂に眠っています。

カステレットの丘「モンタルド展望台」(206-B6)

このカステレットの丘からは、旧市街の屋根と港、ランテルナ灯台を見渡しながら、街で最も見晴らしの良い景観が見ることが出来ます。この丘へは、ポルトッコ広場からアール・ヌーヴォー様式のエレベーターに乗って行くことができます。

イタリア大通りとポッカダッッセ

イタリア大通りは、家族やジョギングをする人、ローラースケートをする人がよく集まるジェノヴァの主要な海岸遊歩道です。海岸通りに沿ってバーやレストランが点在しており、その中にはプライ

海岸線とポルトフィーノの素晴らしい眺めが見えるサンタ・キャラ岬 (4-L5) へと続いています。現在、ポッカダッッセはアイスクリーム店と伝統的な魚のレストランで最もよく知られています。

ネルヴィ

ジェノヴァの最も東方にあるこの住宅地は、19世紀後半から20世紀前半のヨーロッパ貴族のお気に入りの先行でした。その魅力の大部分は、岩場の海辺の上を走るアニータ・ガリバルディ海岸通り (31-M10) と、グロバッコ、セツラ、グリマルディ・ファッジオの3つの別荘の庭を取り囲む公園にあります。現在、別荘の中には、現代芸術の美術館 (13-M10) (火曜日～日曜日、午前10時～午後7時)、19世紀後半の絵画があるフルゴネ・アート・コレクション (16-M11) (火曜日～金曜日は午前9時～午後7時。土曜日と日曜日は午前10時～午後7時。月曜日は閉館)、主に現代応用美術を集めたウォルフソニアン芸術美術館 (17-M10) (水曜日～日曜日は午前10時～午後6時。月曜日と火曜日は閉館) という3つの有名な美術館があります。ネルヴィのカポルンゴ地区には、20世紀初頭の宮殿、ルクソール博物館 (15-M11) (火曜日～金曜日は午前9時～午後1時。土曜日は午前10時～午後1時。日曜日と月曜日は閉館) があります。

スタリエーノ記念墓地 (18-Metropolitan Area)

この共同墓地は完全な戸外の博物館であり、ヨーロッパでもっとも美しく興味深いものの一つとみなされています。1835年に建築家カルロ・バラビーネによって設計された、素晴らしいジェノヴァの歴史と有名なジェノヴァ人を伝えるパンテオン (贖罪の礼拝堂) があります。また、ロマン主義の庭園に影響を受けたイラゴラレの木立には、イタリア統一運動のジュゼッペ・マツィーニらの勇士の墓があります。19世紀、20世紀の国際的に知られた彫刻家による何百というモニュメントは、共同墓地の中心部を構成する回廊や柱廊式玄関に沿って見ることが出来ます。ロレンツォ・オレンゴの「ヘーゼルナッツの売る女人」や、サント・ヴァルニの「プラチェッリ・スピーノラ記念碑」、ジュリオ・モンテヴェルデの「オネト記念碑」、ジョヴァンニ・スカンツィの「カルバネート記念碑」を含む、著名な彫刻が展示されています。(見学時間: 毎日午前7時30分から午後4時30分まで。毎月第二週の週末、午前9時30分と11時に信仰の像から出発する無料のガイドツアーがあります。)

